

新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

長崎県軟式野球連盟

1. 【はじめに】

本ガイドラインは、JSBB感染予防対策ガイドラインを元に作成しております。

- ① 今年度の県大会を開催するにあたりすべての大会関係者は、下記の事項を遵守してください。
- ② 本ガイドラインに協力が得られない参加者およびチームは、他の参加者への安心・安全を確保する観点から県大会への参加を取り消したり、途中退場を求める場合があります。
- ③ 各支部において試合会場の実情および施設管理者の意向を踏まえ、本ガイドライン以外に必要な事項は、別に定めて県大会を実施してください。

2. 【共通の心得】

- ① 選手、チーム関係者、役員および審判員は、球場に入る際必ずマスクを着用のこと。
- ② 大会関係者および試合に参加する者は、発熱、咳、倦怠感などの風邪症状および味覚嗅覚を感じない場合は、県大会への参加を自粛すること。また、14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も自粛すること。
- ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は、参加を自粛すること。
- ④ 手洗い、アルコール等による手指消毒をこまめに実施すること。
- ⑤ 球場内外での唾・痰を吐く行為を厳禁とする。
- ⑥ 感染者が発生した場合は、直ちに大会を中止すること。
- ⑦ 万が一、感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることがないように配慮すること。
- ⑧ 大会関係者および試合参加者が大会期間中または大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、県軟式野球連盟に報告すること。

3. 【大会参加者の心得】

- ① 試合当日、ベンチ入りする全員が事前に自宅にて必ず検温を実施すること。
- ② 試合当日、37度5分以上の発熱、咳、倦怠感などの風邪症状や味覚嗅覚に異常がある者は、参加を認めない。
- ③ チーム代表者は、ベンチ入りメンバー全員の試合当日朝の検温結果および健康状態を「健康チェック表」に記載し、メンバー表提出時に本部に提出すること。
- ④ 打順表提出時はマスクを着用し、対戦相手の監督及び主将の握手は行わないこと。
- ⑤ 人との距離を2メートル確保すること。ベンチ内でも一定の間隔を保つように努めること。

- ⑥ ベンチ内に居る時は、全員がマスクを着用することを推奨する。ただし熱中症予防に配慮すること。
- ⑦ 円陣や密集しての声出しなどの機会は控えること。
- ⑧ 肌が触れ合うハイタッチ等を行わないこと。
- ⑨ ベンチ内で大きな声での会話、声援等は極力控えること。
- ⑩ 試合中を除いて、マスクの着用を義務づけること。
- ⑪ 手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行。
- ⑫ 試合開始時および終了後の挨拶は、一塁側選手は一塁線並びに三塁側選手は三塁線、審判員は所定の位置に整列し、球審の合図で「挨拶」をすること。その際に握手は行わない。
- ⑬ 試合後のチームの入れ替えは、前の試合のチームの選手全員がベンチを出てから入れ替わること。
- ⑭ ゴミは、各自持ち帰ること。

4. 【運営側の心得】

- ① 大会役員および審判員等の大会関係者は、各自検温を済ませてから球場に出向き、検温結果並びに健康状態を「健康チェック表」に記載すること。
- ② 練習会場および試合会場には、消毒液などを設置すること。
- ③ 大会役員、控審判員および補助員等は、常時マスクを着用すること。
- ④ 打順表提出時には、関係する者はマスクを着用すること。
- ⑤ 役員室や審判員室等では、距離を取って着座し、室内の換気を励行すること。
- ⑥ 選手やチームを集めるなど、密集することがないように配慮すること。

5. 【応援者の心得】

- ① 応援席(観客席)が「密」にならないように一定の距離を保って観戦するように、チームごとで応援者に注意喚起を行うこと。なお試合中に放送による呼びかけを実施したりすること。
- ② 応援歌や大声での応援なども控えるように協力をお願いすること。
- ③ 試合間の休憩および昼食時においては、密集、密接にならないように配慮すること。
- ④ ゴミ等は、各自持ち帰りを励行すること。